

戦略

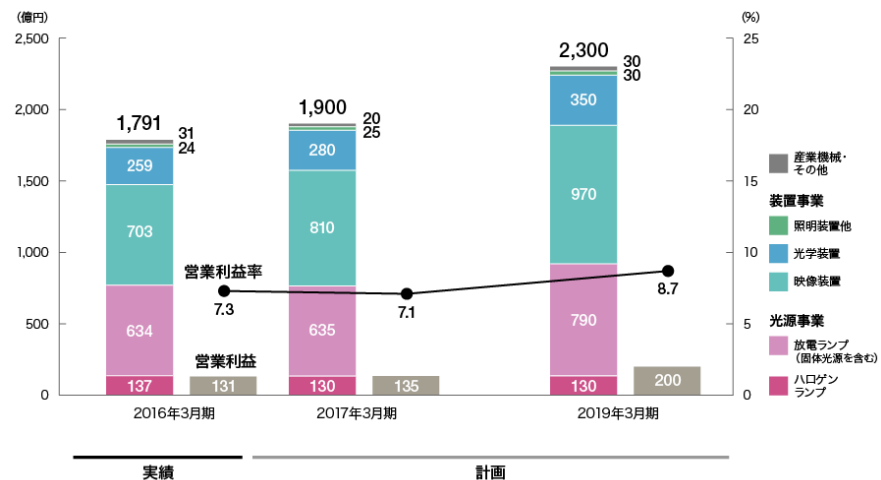


中期経営計画

中期経営計画（～2019年3月期）における達成目標

売上高		営業利益	
2016年3月期実績 1,791 億円	2019年3月期目標 2,300 億円	2016年3月期実績 131 億円	2019年3月期目標 200 億円
2016年3月期比：+509億円 +28%		2016年3月期比：+69億円 +53%	
営業利益率		ROE	
2016年3月期実績 7.3%	2019年3月期目標 8.7% +1.4P	2016年3月期実績 5.2%	2019年3月期目標 8% 以上

中期経営計画 セグメント別売上高



セグメント	サブセグメント	2019年3月期 売上高 (計画)	3年間の増加額	3年間の成長率	CAGR
装置事業	映像装置	970億円	+267億円	38%	11%
	光学装置	350億円	+91億円	35%	11%
	照明装置他	30億円	+6億円	25%	8%
	小計	1,350億円	+363億円	37%	11%
光源事業	放電ランプ (固体光源を含む)	790億円	+156億円	25%	8%
	ハロゲンランプ	130億円	-7億円	-5%	-2%
	小計	920億円	+148億円	19%	6%
その他	産業機械・その他	30億円	-1億円	-3%	-1%
合計		2,300億円	+509億円	28%	9%

戦略

目標達成へ向けた施策

○ 既存事業における収益性の維持・改善

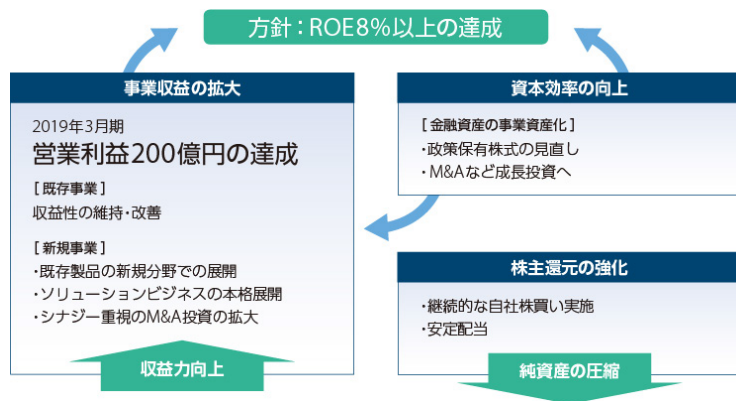
- 光学装置事業における構造改革 第2ステージへ
- 光源、装置事業のコスト競争力強化

○ 新たな成長機会の追求

- 既存製品の新規分野での展開
- ソリューションビジネスの本格展開
 - 映像分野におけるソリューション型ビジネスモデルの確立
 - 他事業分野へのソリューション展開の拡大
- シナジー重視のM&A投資の拡大

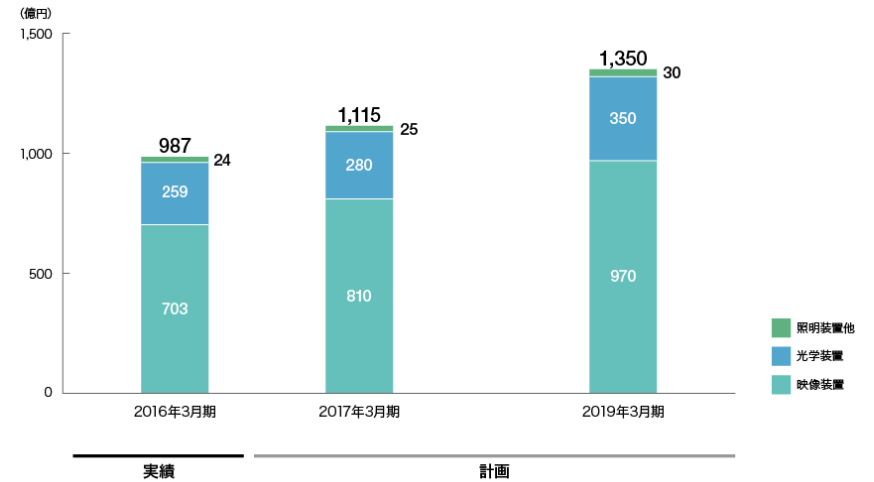
企業価値向上に向けた考え方

事業収益の拡大を着実に進めるとともに、資本効率の向上や株主還元強化によりROE8%の早期達成を目指します。



装置事業

装置事業 中期経営計画



	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (計画)	2019年3月期 (計画)
映像装置	703億円	810億円	970億円
光学装置	259億円	280億円	350億円
照明装置他	24億円	25億円	30億円

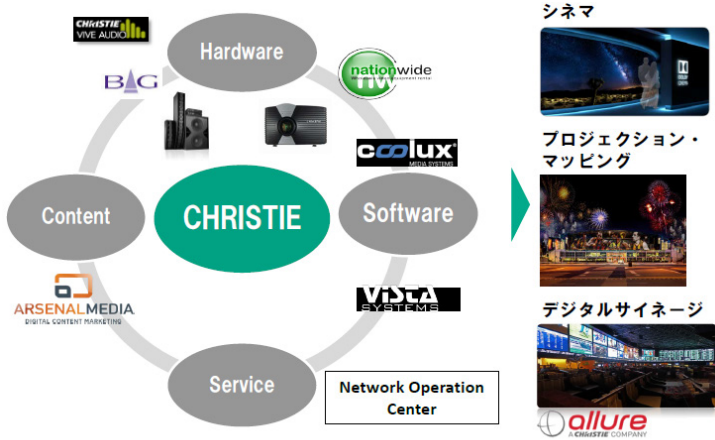
戦略

事業環境と施策

○ 映像装置

分野	事業環境と戦略	施策
シネマ	プラス要因 新興国向け、およびプレミアムシネマスクリーンの拡大継続	トータルソリューションビジネスの拡大 <ul style="list-style-type: none"> ソリューション提供型ビジネスモデルの確立 安定収入モデルの確立
	プラス要因 ハイエンドシネマの提供拡大(レーザープロジェクター+オーディオシステムなど)	
一般映像	プラス要因 成長分野であるデジタルサイネージ事業の拡大	

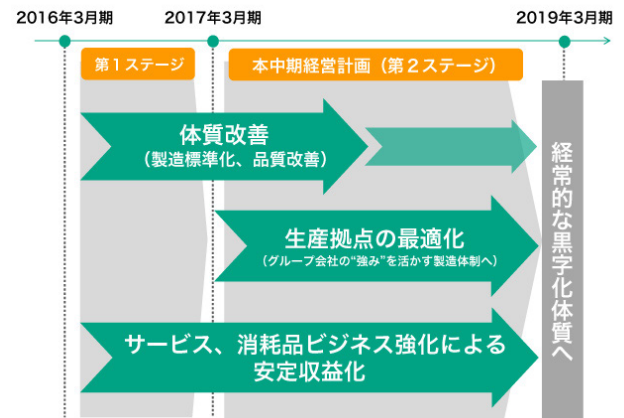
映像画像のトータルソリューション展開



○ 光学装置

分野	事業環境と戦略	施策
UV装置	プラス要因 半導体実装技術の変革	経常的な黒字化を目指した構造改革 <ul style="list-style-type: none"> グループ戦略の見直し
	プラス要因 車載・インフラ投資、データセンター拡大	
キュア装置	プラス要因 OLED化による投資機会	
	マイナス要因 スマートフォンの成長鈍化	
キュア装置	プラス要因 中国、液晶投資継続	
	プラス要因 中小型液晶の高精細化ニーズ継続	
	マイナス要因 液晶のOLED化による需要減	

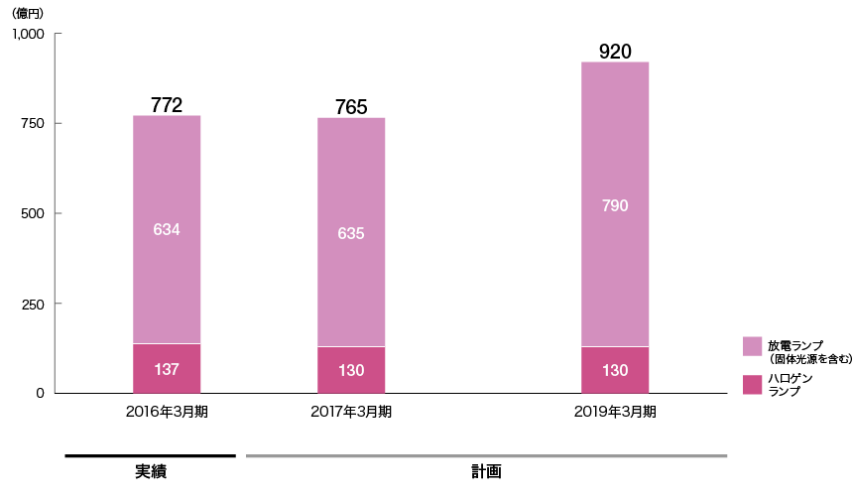
光学事業装置における構造改革



戦略

光源事業

光源事業 中期経営計画



	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (計画)	2019年3月期 (計画)
放電ランプ (固体光源を含む)	634億円	635億円	790億円
ハロゲンランプ	137億円	130億円	130億円

事業環境と施策

分野	事業環境と戦略	施策
UVランプ	プラス要因	差別化促進 (高効率、長寿命)
	マイナス要因	市場成熟
シネマ用ランプ	プラス要因	新興国需要増
	マイナス要因	価格競争激化
データプロジェクター用ランプ	プラス要因	ローエンド強化でシェア拡大
	マイナス要因	市場低成長
新規分野	プラス要因	環境・衛生・自動車など成長分野に参入
固体光源	プラス要因	ラインナップ強化による新規分野進出

「収益性の維持」と「持続的成長」

- [既存] シェア維持 と 製造コスト改善
- [新規] 成長市場へ積極的に参入

○ 固体光源事業の事業ドメイン

産業用領域を中心とした6つの事業ドメインに特化し、固体光源市場における独自ポジションを確立していきます。

